

2021年度Aセメスター工学系・工学部共通科目

新規
開設

「New Normal」の
世界での
リーダーシップとは

「国際連携演習 I-X」

▶学部3年・4年生

「国際連携特別演習 I-X」

▶大学院

2021年度Aセメスター Online説明会

2021年10月4日(月) 6限 18:45~20:30

説明会はオンライン (Zoom) で行います。Zoom URLは、QRコードまたは下記URLからアクセスしてください (ログインには東大ECCSアカウントが必要です)。

<http://bit.ly/3xa870x>

このリンクは国際教育部ホームページ: <https://global-eng.t.u-tokyo.ac.jp/index> にも掲載されています。



国際連携 (特別) 演習 VI

学部 FEN-CO3985S3 大学院 3799-406

▶秋山 友香 akiyama@cce.t.u-tokyo.ac.jp

コンピュータ支援言語学習~理論とコンテンツ開発~

秋山 友香

Computer-Assisted Language Learning (CALL、コンピュータ支援言語学習)とはテクノロジーを用いた外国語学習の効率化を追求する研究分野です。この授業では「第二言語習得理論」の基礎的知識を身につけ、Duolingo、Google翻訳、Virtual Reality (VR)、DMM英会話などの外国語学習方法・ツールをCALLの視点から分析します。また、ニーズ分析を行い、消費者のニーズを明らかにして、製品の開発に役立てるトレーニングをします。最終的にはニーズ分析の結果と第二言語習得理論に基づいて外国語学習アプリのコンテンツ、または外国語学習ツールのプロトタイプを作成します。これらの活動は全て国際チームのプロジェクトとして行われます。

国際連携 (特別) 演習 VII

学部 FEN-CO3986S3 大学院 3799-407

▶リチャードソン マシュー richardson@cce.t.u-tokyo.ac.jp

国際衛星設計プロジェクト

中野 義昭・リチャードソン マシュー

ISDP (英:International Satellite Design Project)は英語で実践するチームプロジェクトの授業である。本プロジェクトでは、参加する学生が宇宙ミッションを概念設計しながら衛星設計や宇宙工学について学ぶことができる。さらに技術プロジェクトで英語を使う経験を得ることも可能。ISDPのチームは、「衛星設計コンテスト」などの宇宙工学競技に参加する。ISDP各チームには、日本人学生と留学生の両方が入る。オーストラリアの大学生も参加するので、国際交流や英語実践の機会が増える!ISDPは、大学院生及び学部3年生・4年生の中で誰でも参加可能なプロジェクトである。どの学科・専攻でも参加可能!参加要件は特にないが、数学力や科学、工学の能力が推奨される。

国際連携 (特別) 演習 VIII

学部 FEN-CO3987S3 大学院 3799-408

▶マルケスマリニョ ムリロ murilo@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

遠隔操作ロボット・設計・製造・制御の基礎

光石 衛・マルケスマリニョ ムリロ

近い将来、遠隔操作ロボット (危険物処理ロボットや手術ロボット等)は、社会の必要不可欠な一部になると期待されている。そのような社会においてリーダーシップを担えるようになるためには、遠隔操作ロボットの開発に関する基礎的な設計・製造・制御の知識が必要となるであろう。本演習では、学生は国際チームの一員となり、6自由度ロボットアームの組み立てから、ロボットの操作ができるインターフェースの設計・製造・制御までを行う。基本的な部品 (サーボモーター等)のキットは、学生に配布される予定である。国際的な知識を深めながら、ロボットに関する興味・関心の育成をも目指す。

国際連携 (特別) 演習 IX

学部 FEN-CO3988S2 大学院 3799-409

▶内堀 朝子 uchibori@cce.t.u-tokyo.ac.jp

国際理解とコミュニケーション

内堀 朝子

この授業では、海外の大学生とのオンライン交流を通じて、多様な背景を持つ相手との国際的な協働プロジェクトにおいて必要となるコミュニケーション能力の向上と、異文化理解の促進を目指す。交流先予定の大学はMITおよびKTH (スウェーデン王立工科大学)で、MIT学生とは英語と日本語で、KTH学生とは英語で、各大学4回ずつのオンラインセッションにおいてペア又はグループによるディスカッションを行い、最後にペア又はグループごとに発表する。時差のためセッションは授業時間外に各自が行い、授業ではセッション準備・振り返りの他、各自の経験をシェアしながら、より良い国際理解及びコミュニケーションへのアプローチを探る。

国際連携 (特別) 演習 X

学部 FEN-CO3989S3 大学院 3799-410

▶村山 顕人 aktmurayama@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

日本橋スマートシティ・都市デザイン

城所 哲夫・村山 顕人・吉田 崇紘

「日本橋スマートシティ・デザイン2021」をテーマとして、旧日本橋区を対象に一連の演習作業を行う。市街地再生方針の策定や建物・公共空間・都市基盤の計画・設計においては、各種空間データや環境シミュレーション技術を活用する「都市システムデザイン」の手法*を適用し、地区分析と基本コンセプトの提案を学際的領域から検討することが演習の目的である。演習は、約1ヶ月集中 (実施期間は後日通知する) で実施する。

*SHINAGAWA EAST ZERO CARBON CITY DESIGN 2020:<http://up.t.u-tokyo.ac.jp/studio/shinagawa2020.html> を発展させる。

